

段階的なICT環境整備と活用

(1) ICT環境の段階的整備

文部科学省から「2018年度以降の学校におけるICT環境の整備方針」が示されていますが、この目標を達成している地域・学校はまだ少数に限られていると言わざるを得ません。この整備目標を一気に達成しようとするのは、一般的な地方自治体の予算からみてかなり難しいことだと思われます。ICT環境の現状を十分認識したうえで、段階的な整備を進めることが必要となります。

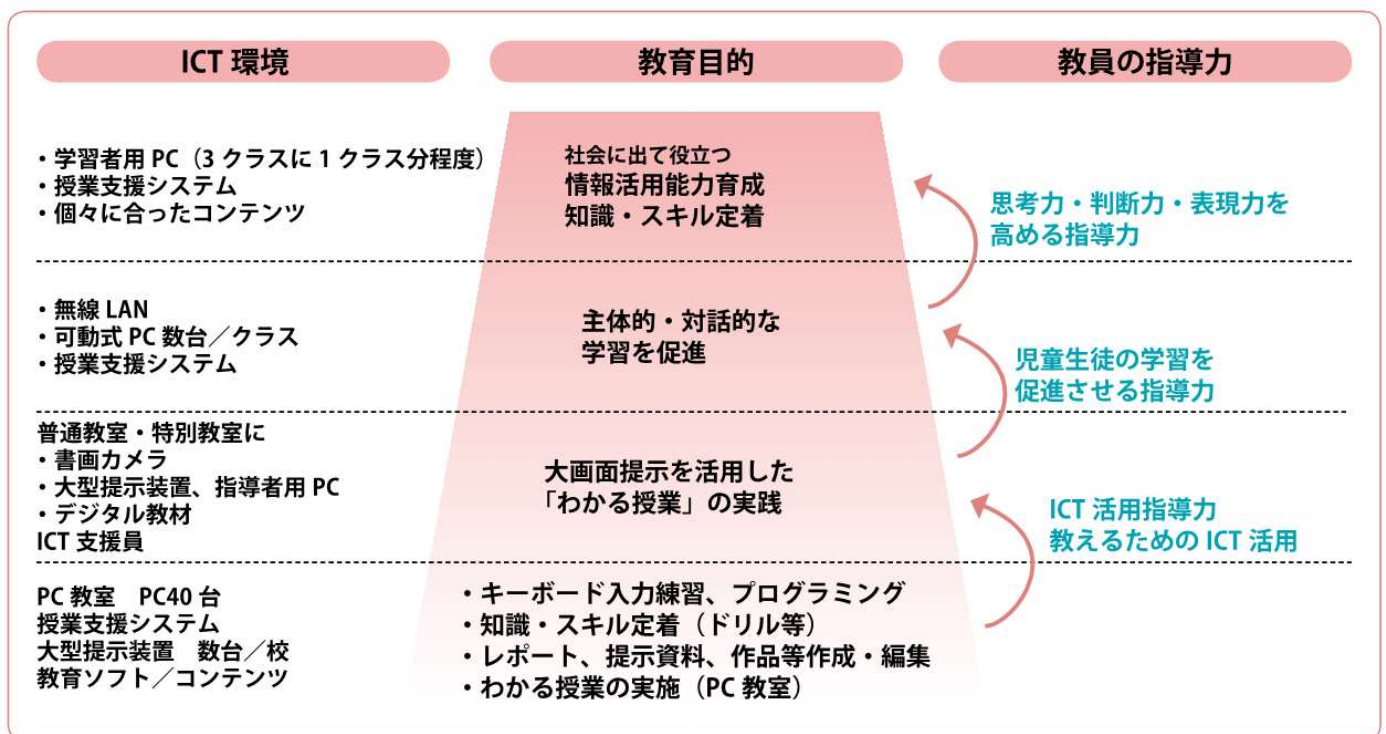
では、どのように段階を設定したらよいのでしょうか。ICT環境の面から考えると、たとえば、タブレットPCを使うためには無線LANや大型提示装置の整備が必須となります。しかし、最近は無線LANや大型提示装置が整備されていないのにタブレットPCを導入しようとする例もよく見られます。このように前提条件をよく考えずに整備を進めると、せっかく導入したものが十分に活用されないということになりかねません。整備の順序については、機器利用の前提条件をよく考えて決めていきましょう(図表1-4)。

(2) 教育目的の段階的設定

ICTの活用目的を考えずに、目標の達成のみを考えてICT環境を整備するのでは、意味がありません。しかし、残念ながらそういったICT環境整備が多いのが現状で、ICT環境を整備した後で初めてこれをどう活用しようかと考えることになってしまいます。図表1-4は一例ですが、教育目的も段階的に考え当面の教育目的を明確にしたうえで、そのためにどのようなICT環境が必要なのかを考えていきましょう。まずは、「わかる授業」の実践を目指すところから始めてみてはいかがでしょうか。

(3) 教員の指導力の段階的向上

ICTは、教育のための一つのツールであり、ICT環境を整備しただけで、よりよい教育に結びつくわけではありません。効果的な教育ができるかどうかは、教員の指導力にかかっています。教育目的に合わせて、教員の指導力の向上も図っていく必要があります。図表1-4には、教員の段階的な指導力向上の例についても示しています。



図表 1-4 教育目的、ICT環境、教員の指導力を含めた総合的な段階的整備